

～ 真理の道・誠の道・平和の道～

# 東 雲



平戸市立度島小中学校

学校だより No.22

令和7年11月21日(金)

文責：校長 園田栄作

## 度島神社、飯盛神社大祭

～ 地域の一員として参加できました ～

18日(火)に度島神社、19日(水)に飯盛神社において秋の大祭が行われ、小中学生の子どもたちは、地域の方と一緒にそれぞれの地区の神社の祭りに旗持ちとして参加しました。秋の祭りは農作物の豊かな実りや豊漁、航海の安全などへの感謝の祭りと言われています。自然の恵みにより生かされている中、この収穫の時期の行事に参加できたことは、子どもたちにとって意義ある体験となりました。また、地域の一員として役割を果たせたことも充実感に繋がりました。まちの通りを歩く際には、地域の方が温かく声をかけてくださったり、笑顔で見守ってくださったりして、地域の方も楽しみに、そして大事にされている祭りであることを実感しました。



18日(火)の午後からは、中学生が学習の一環として、平戸神楽の奉納を鑑賞しました。平戸神楽は国指定の無形民俗文化財です。神楽は神を楽しませるための奉納の舞とされていますが、一般の方も観て楽しむことができます。神楽は各神社において秋の祭りで奉納されますが、目の前で直接鑑賞できる機会はありません。弓や真剣など様々な道具を使い、鍛えた体と精神の力強い舞があり、その真剣さや迫力に引き込まれました。子どもたちは、地域に伝わる伝統行事に触れることができ、あらためて地域のよさを実感できました。

## 学校保健委員会

～ 「メディアと目の健康」について講演いただきました ～

14日(金)に、学校保健委員会の取組で「メディアと目の健康」について、講演会を実施しました。小中学生の子どもたちと保護者を対象に行いました。講師は、尚時堂株式会社代表取締役(両眼視スキルアップ研究所所長)の〇〇〇様でした。私たちが毎日使っている目が正しく機能しているか、正しく目で捕らえているかを実際に体験しながら分かりやすく話してくださいました。片目で見ると遠近感が分からないことや目にも利き目があることなども知ることができ、驚きでした。自分でもできるトレーニングとして、両手の親指を使って、左右や上下、または斜めに動かすことをしていただき、子どもたちもすぐに理解し、講演後も実践しており、とても有意義な講演となりました。目は、体において学習にも運動にもとても大事な器官です。目の健康に留意してほしいと思います。最後に、〇〇先生からデジタル画面を見る際に注意してほしいことの紹介がありましたので、下に掲載します。



### ■デジタル画面を見るときは

- 姿勢を正して、画面から目を30cm以上離そう
- 30分に1回は、20秒以上遠くを見て、目を休めようね
- 目が渇かないように、よくパチパチとまばたきをしよう
- 休み時間は目を休めて、明るい屋外で体を動かしましょう
- 寝る1時間前からは、画面を見ないようにしよう

## グラウンドゴルフ大会に参加しました

3日(月)に、地域のグラウンドゴルフ大会に中学生と職員が参加しました。風が強くはありましたが天候に恵まれ、グラウンドゴルフを通して、スポーツの秋を楽しむことができました。ホールインワンになりそうなナイスショットもたくさん出て、笑顔いっぱいの大会になりました。地域の方と交流でき、仲を深めることができました。

